



開物成務

令和2年 1月10日(金)発行

校長 津田 将美

地域に支えられる すてきさん

2学期の終業式の前日、放課後に学校便りを配布するために地域を回りました。開成町は平地が多く、自転車で回るには最適です。冬の空気ではありましたが、日が差して気持ちいい風を受けながらペダルをこぎました。

自転車ですと、車よりも風景はゆったりと動きます。季節の変化を感じながら、豊かな環境の開成町を巡回するのもなかなかいいものです。途中で出会った地域や保護者の方々から声をかけられたり、手を振られたりすると更に気持ちよくなります。

吉田島駐在所に到着し、学校便りを机の上に置かせていただいた時のことです。机の端に小さな靴がひとつ、ぽつんと置いてあることに気づきました。となりに、メモ書きがあります。

「よしだじまこうこう、バスていの前におちていました。」

ペン立てに置いてあった茶色の色鉛筆で、子どもの字で書かれたかわいいメッセージでした。片方だけの届け物でしたが、きっと下校途中の開成小学校のすてきさんを見つけ、交番に届けてくれたのでしょう。「落とした人は困っているだろうな…」そういうやさしい想いがメッセージから伝わってきました。「片方だけだし…」「めんどくさいな…」なんて感じずに、自分の心に浮かんだやさしい想いを行動に移すことができたことを、とてもうれしく感じました。



最近、朝会等で全校に話をする時に、「ひとりでも行動できるすてきさん」という言葉を投げかけています。誰もが良い心、やさしい心を持っていますが、それを行動に移すことは時として難しいこともあります。でも、本当に大切なことは「ひとり」でも行動しなければならないのです。自分が大切だと思ったことをそのまま行動に移すことができる自分を自分自身で育ててほしいという願いを込めて、子どもたちには伝えているつもりです。この小さな靴の落とし物のように、ひとつひとつの「大切なこと」をしっかりと行動に移していくことが、そういう自分を育てていくのだと思います。

子どもたちのそのような小さな勇気を支える大きなものが、周りの環境です。それは家庭であり、学校であり、地域であります。3学期の始業式の朝にも、多くの方々が児童の登校の見守りに立って、明るく声をかけてくださっていました。吉田島駐在さんも、延沢駐在さんも、子どもたちをあたたかく見守ってくださっています。そういう安心感が、「あの交番に届ければ大丈夫」という想いを生み、今回の「落とし物を届ける」という行動を後押ししてくれたのだと思います。

そんなことを考えながら円中から学校に向かう途中の歩道で、今度は私が靴を見つけました。片方だけ…、小さなかawaiiらしい靴…、色はえんじで…。

「あっ！」

思わず声をあげました。何と、先ほどの落とし物のペアでした。



これも偶然の中の必然なのでしょうか…。何だか変に感動し、ほのぼのとうれしい気持ちになって学校に戻りました。私も開成小学校のすてきさんを見習って、翌日に吉田島駐在所に届けました。でも、今思えば当日すぐに届けた方がよかったかな…。そう考えると、大人も子どものやさしく素直な行動力を見習わなくてはいけないのかもしれない。

子どもCAP 12月16日

11月7日に行われたCAP研修（大人版）に続き、子ども版の授業として4年生の全クラスが実施しました。毎年続けて行われているので、本校では4年生以上は全てこの研修を受けていることになります。

今回の研修でも、子どもたちが自分の人権を守るために自分自身で大切にしていかなければいけないことを意欲的に学んでいました。毎年、家庭教育学級と連携させていただいていることで、学校と家庭の両面で子どもたち自身が人権意識を高めるために必要なことを、共に考える場となっていると感じました。



見つけたよ すてきさん

2学期の終業式の日、各教室を回っていると、どの教室でも1年のしめくくりとして机回りや教室の内外をきれいにしていました。心をこめてこのような作業を行うことで、自分たちの環境に対しても感謝の気持ちが生まれるはずですよ。どの子の表情も生き生きとしていました。

「校長先生、ちょっとこっちに来て。」

1年生の教室で、そう声をかけられました。いっしょにベランダに出てみると、雑巾かけに雑巾がきちんと整理されてかけられていました。

「私たちがきれいにしたんだよ。」

うれしそうに教えてくれました。

「すごい！気持ちいいね！！」

「うん。」

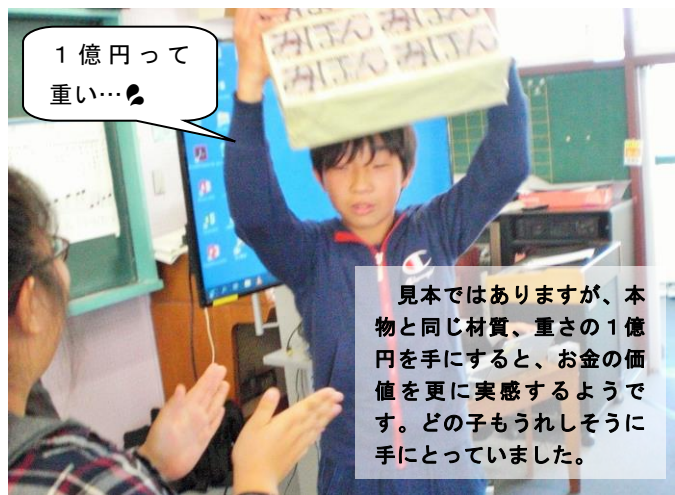
誇らしげなその顔は、正にすてきさんでした。環境を整えることは、心を整えること。いい1年のしめくくりができました。



租税教室 12月18日

先日の授業参観の中で、6年生は「租税教室」を行いました。今、政治のはたらきについて学習している6年生にとっては、税務署から講師をお招きしての貴重な体験的学習の場です。映像や税理士の方の説明、1億円の札束の見本を実際に持ったり触ったりと、普段の教室では体験することのできない学びとなりました。

選挙権が18歳からとなり、政治の仕組みや国民の権利・義務、税金の大切さなど小学校のこの時期から実感をもって学び取ることは大切なことです。これからの生活の中で、政治と主体的に向き合える人になってほしいと思います。



開成町表彰式及び賀詞交歓会

1月5日に開成町の表彰式及び賀詞交歓会に参加してきました。パラ水泳での日本一、アンサンブルでの活躍等、開成町には多くの分野で努力を結果に結びつけている方がいることを改めて実感しました。本校の卒業生も、中学校の部活動等表彰され、小学校時代をなつかしく思い出しました。

賞をとることがすべてではありませんが、このような文化・スポーツの分野で活躍されている方々が数多くいるということは、町民全体の裾野が広がっているからだと思います。それは、すなわち人としてより良く、より豊かに生きることにつながります。学校教育の中でも、大切に育てていきたいと思いました。

開成小学校からも、自転車の安全な乗り方大会で見事、神奈川県で1位になった4名が表彰され、町長さんをはじめ町民の皆様から祝福されました。

